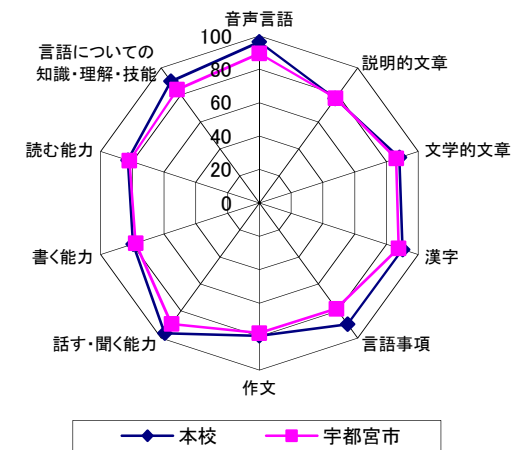


宇都宮市立平石北小学校第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	96.4	89.5
	説明的文章	77.3	77.6
	文学的文章	88.2	86.1
	漢字	90.2	87.6
	言語事項	89.8	78.3
	作文	79.5	77.9
観点別	話す・聞く能力	96.4	89.5
	書く能力	79.5	77.9
	読む能力	82.7	81.9
	言語についての知識・理解・技能	90.0	83.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (96.4%)	・平均正答率は、96.4%と市の平均正答率より高い。「話の中心の聞き取り」「話の内容の聞き取り」「話題に沿った質問」全ての問題で正答率が高い。	・普段から、相手や目的を明確に意識しながら、友達の話を聞くようにする。質問も、聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を質問をするよう意識付けを図っていく。
説明的文章 (77.3%)	・平均正答率は、77.3%と市の平均正答率より若干低い。「文脈に即した内容の理解」での正答率が低かった。	・授業の中では、文脈に即して内容が理解できるよう、音読を中核に据えながら、丁寧に読解指導を行う。また、関連教材を図書室等で探し、様々な情報を比較検討しながら、文章を読む学習も行う。問題に慣れるため、多くの練習問題に取り組んでいく。
文学的文章 (88.2%)	・平均正答率は、88.2%と市の平均正答率より高い。「場面の様子」を読み取る問題の正答率が低い。「語句の補充」「登場人物の様子」に関する問題はよくできていた。	・朝の読書の時間等の読書などで、多くの物語文に触れるようにする。授業の中では、場面の様子や移り変わりを丁寧に読み取る学習を継続して行う。問題に慣れるため、練習問題も利用する。
漢字 (90.2%)	・平均正答率は、90.2%と市の平均正答率より高い。漢字の読み書き共によくできていた。	・漢字小テストを今まで以上の頻度で行い、知識の定着を図る。家庭学習でも、漢字スキルのまとめのページ等を利用して反復練習を行い知識を定着させる。また、漢字の成立の起源を知ること、漢字に興味と関心をもつことができるようにするため、漢字文化に関する授業を適宜行う。
言語事項 (89.8%)	・平均正答率は、89.8%と市の平均正答率より高い。「ローマ字の読み方」「慣用句」「常体と敬体」の正答率は100%と、たいへんよくできていた。「国語辞典の引き方」の正答率が低かった。	・「国語辞典の引き方」の取りたて指導を行う。教科書で基本事項を確認した後、多くの練習問題を行い、知識の定着を図る。授業の中でも頻繁に国語辞典を使わせ、引き方に習熟させる。
作文 (79.5%)	・平均正答率は、79.5%と市の平均正答率より高い。手紙文の中で「呼びかける言葉を入れて手紙を書く」部分の正答率が、若干市の平均正答率より低い。	・作文では、言語知識や漢字を実際に適切に使うことができるよう指導していく。また、作文の型も平行して指導していく。手紙文に関しては、実際に手紙を書く機会を多くもち、手紙を書き慣れることができるようにする。